



宮古盛岡横断道路 宮古箱石道路『起工式』

～ 震災後に新規事業化された宮古盛岡横断道路で初の着工 ～

道路建設課 宮古土木センター

県が「復興道路」に位置付けている宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ延長 約100kmの地域高規格道路です。

平成23年度第3次補正予算では、

- ・宮古箱石道路（宮古～箱石） L = 約33km
- ・平津戸松草道路（平津戸・岩井～松草） L = 約7km
- ・区界道路（区界～築川） L = 約8km

の3区間が直轄権限代行事業として新規事業化されました。

平成25年11月30日（土）に宮古箱石道路『起工式』が開催され、国土交通省をはじめ、宮古市、関係機関の皆様の御尽力により、事業化から約2年での着工となりました。

また、今回の『起工式』は、震災後に新規事業化された3つの区間で初めての工事着手となります。

宮古盛岡横断道路 宮古箱石道路の整備では、国道106号の線形不良区間の回避による走行性の向上とともに、所要時間の短縮による盛岡市と宮古市間のアクセス性の向上、救急医療施設への速達性の向上等の効果が期待されます。



▲ 一日も早い完成と工事の安全を祈念して、山本正徳宮古市長はじめ、来賓の方々や関係者による“鍬入れ”が行われました



▲ 川屋小学校の生徒による「川屋太鼓」が披露され、起工式を盛り上げました